

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【公開番号】特開2012-181974(P2012-181974A)

【公開日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-038

【出願番号】特願2011-43441(P2011-43441)

【国際特許分類】

F 21V 8/00 (2006.01)

F 21V 5/00 (2006.01)

F 21V 5/04 (2006.01)

H 01L 33/58 (2010.01)

F 21Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21V 8/00 320

F 21V 5/00 510

F 21V 5/04 100

F 21V 5/04 400

H 01L 33/00 430

F 21Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月27日(2014.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

発光ダイオードと、前記発光ダイオードの出射光の開口数を変換するよう設けられた光学系とを有する発光ダイオード照明装置であって、

前記光学系は正の屈折力を有するレンズから成り、

前記発光ダイオードは前記光学系の焦点または焦点の近傍に配置されており、

前記発光ダイオードの発光面の代表的寸法をL、前記レンズの径をD_o、装置から照射される光の開口数をN_{Aout}、前記レンズの焦点距離をfとしたとき、

$$D_o = 2f / L / N_{Aout}$$

であることを、

特徴とする発光ダイオード照明装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明に係る発光ダイオード照明装置は、発光ダイオードと、前記発光ダイオードの出射光の開口数を変換するよう設けられた光学系とを有する発光ダイオード照明装置であって、前記光学系は正の屈折力を有するレンズから成り、前記発光ダイオードは前記光学系の焦点または焦点の近傍に配置されており、前記発光ダイオードの発光面の代表的寸法を

L、前記レンズの径をD_o、装置から照射される光の開口数をN_{Aout}、前記レンズの焦点距離をfとしたとき、

$$D_o = 2f \cdot L / N_{Aout}$$

であってもよい。